

# モニタリング結果報告書 (2018年度)

## 1. 施設概要

施設名	茅ヶ崎里山公園		
所在地	茅ヶ崎市芹沢		
サイトURL	<a href="http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/">http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/</a>		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成13年10月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会		
指定期間	H27.4.1~R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>&lt;評価の理由&gt; 利用状況がB、利用者の満足度がS、収支状況がAとなったことからA評価となった。</p> <p>&lt;今後の課題・対応等&gt; 引き続き本公園の特性である里山の自然を活かした魅力あるイベントを実施するとともに、利用者満足度を維持することで、利用者拡大に努めることを期待する。</p> <p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、地域団体や学校等と連携した農体験活動、ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環の取組や、地元食材を活用した飲食サービスの提供など、公園の魅力伝えるプログラムを実施し優れた実績をあげた。</p> <p>◆利用状況 今年度の秋から駐車場を全日有料化にし、募集時の条件と異なること等から、目標値比率ではなく前年度比率により評価。有料化の影響を受け、前年度比率が91.5%となったためB評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が約97%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 公園まつりやイベントの開催を通じて利用促進に努めた結果、収支比率が約100%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 寄せられた苦情については誠実に対応した。トイレや園内清掃状況などの利用者が目につきやすい点についての苦情はなく、日頃の維持管理の成果が表れている。</p> <p>◆事故・不祥事 利用者の転倒事故、指定管理者職員の事故が数件発生した。事故発生ごとに原因を整理し再発防止に努めた。引き続き安全管理に留意してほしい。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、平成30年度の3項目評価についてはA評価とした。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	—
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回程度	—
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <b>無</b>	指導・改善勧告等の内容
		—

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>■里地・里山の自然を活かし楽しむ環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域団体や学校等と連携した農体験活動</li> <li>○ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体や学校等と連携した農体験活動や里山保全活動を実施</li> <li>・ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環(チップ燃料利用等)の取組を実施</li> </ul>	
<p>■楽しく快適な公園利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公園の魅力を伝えるプログラム提供</li> <li>○地元食材を活用した飲食サービスの提供</li> <li>○来園者が安全快適に利用できる施設の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育機関と連携し学校の課外事業の一環として、里山学校の取組を継続(小学校8回/年、中学校4回/年)するなど、公園の魅力を伝える様々なプログラムを実施</li> <li>・地元食材を活用した飲食サービスの提供を実施(キッチン里山)</li> <li>・来園者が安全快適に利用できる施設の維持管理を実施</li> </ul>	
<p>■健康的な暮らしの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティアと協働による農体験での健康づくり</li> <li>○県民協働によるエコ的食のイベント等の取組</li> <li>○近隣大学等と協働による周辺地域も含めたエコツアーの取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアと協働し農体験を通じた健康づくりの取組を実施</li> <li>・県民協働によるエコ的食のイベント等の取組を実施(ソーラークッキング)</li> <li>・近隣大学等と協働により、公園発着で北部地区を巡るウォーキングを開催</li> </ul>	
<p>■防災機能の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時対応体制の整備</li> <li>○地元と協力した防災の取組みの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に対応できるよう緊急参集訓練を実施するとともに備蓄用品の確保等を実施</li> <li>・防災ヘリポート使用時の緊急車両等誘導訓練を新たに実施</li> </ul>	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	バーベキュー場の運営を行った。
駐車場の運営	駐車場の運営を行った。
自動販売機の運営	自動販売機の運営を行った。

## 5. 利用状況

評価	<評価の目安> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
B	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	121,658	115,577	105,710
対前年度比		95.0%	91.5%
目標値	-	-	-
目標達成率			

目標値の設定根拠： 前年度利用者数

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計した利用者を除いた利用者数  
 （H29秋からの駐車場全日有料化を考慮）

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 \_\_\_\_\_

## 6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回の計6回調査の結果を使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 119 / 119 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	71	41	2	2	0	116	植物がよく管理されている
回答率	61.2%	35.3%	1.7%	1.7%	0.0%		
前年度の回答数	77	37	3	2	0	119	
前年度回答率	64.7%	31.1%	2.5%	1.7%			
回答率の対前年度比	94.6%	113.7%	68.4%	102.6%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳			支出	収支差額
前々 年度	当初 予算	113,600		16,212	駐車場11,828 自販機 4,384	129,812	129,812	0	
	決算	113,600		14,859	駐車場11,019 自販機 3,840	128,459	121,041	7,418	106.13%
前 年度	当初 予算	113,600		16,910	駐車場12,419 自販機 4,491	130,510	130,510	0	
	決算	113,600		16,212	駐車場12,489 自販機 3,723	129,812	126,772	3,040	102.40%
2018 年度	当初 予算	113,600		17,313	駐車場12,715 自販機 4,598	130,913	130,913	0	
	決算	113,600		15,527	駐車場12,614 自販機 2,914	129,127	128,780	347	100.27%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	メール	0 件		
	その他	0 件		
職員対応	メール	0 件	・バーベキュー場の器具取扱方法	→職員指導の徹底
	その他	1 件		
事業内容	メール	1 件	・除草の集積方法	→すぐに対応済
	その他	0 件		
その他	メール	1 件	・駐車場の利用方法	→要望者へ説明済
	その他	0 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
5月6日	①利用者が木製階段から転倒し、顔を擦り出血。 ②同日メールで、翌日に電話で報告を受けた。 ③顔を裂傷。足元注意の看板を設置。 ④なし ⑤なし ⑥なし
6月24日	①利用者が池で滑り、頭をぶつけた。 ②同日メールで、翌日に電話で報告を受けた。 ③頭を打撲。滑りやすい旨の注意看板を設置 ④なし ⑤なし ⑥なし
2月17日	①利用者が建物の柱にぶつかり、顔にケガ。 ②後日、利用者の関係者から通報があり、メールと電話で報告を受けた。 ③顔を裂傷。柱に防護措置をした。 ④なし ⑤なし ⑥なし
2月27日	①作業員が植栽刈込中に、足を裂傷。 ②後日、メールと電話で報告を受けた。 ③足の裂傷。再発防止対策会議を開催し、再発防止の周知徹底を行った。 ④なし ⑤なし ⑥なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。